

# 平成29年度弘前大学 若手・新任研究者支援事業採択者並びに 青森ブランド価値創造研究採択課題



## 若手・新任研究者支援事業採択者

| 分野           | 部局名       | 職名      | 申請者氏名  | 研究課題名  |
|--------------|-----------|---------|--------|--|
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 准教授     | 西野 敦雄  | 陸奥湾産ホタテガイとホヤ類の鰓纖毛の運動生理学的研究                       |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 准教授     | 池田 紘士  | 消化管内微生物と宿主甲虫間の共進化関係の解明                           |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 准教授     | 曾我部 篤  | ミトコンドリアDNA全塩基配列に基づくウオノエ亜目の系統解析ー寄生性の起源と多様化プロセスの解明 |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 助教      | 栗田 大輔  | リボソーム修飾塩基がYaeJによる翻訳停滞解消機構に与える影響                  |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 教授      | 岩井 邦久  | 消化管内におけるケルセチンの脱抱合代謝に及ぼすペクチンの作用に関する研究             |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 教授      | 中島 晶   | 青森県の特産品である食品に含まれる成分の抗認知症作用の解明                    |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 助教      | 金児 雄   | 終齢化を引き起こす分子機構の解明                                 |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 准教授     | 叶 旭君   | 水稻葉色計測装置“ライススキャン”のリンゴ樹葉養分状況評価への適用性検討             |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 助教      | 田中 紀充  | リンゴの変形果実発生要因の調査および植物成長調節剤による軽減効果の調査              |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 准教授     | 遠藤 明   | ナガイモの品質向上に向けた青森県西北地域における砂質土畑地の土壤理化学性の改良          |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 助教      | 鄒 青穎   | 地形・地質的な視点に基づく火山周辺地域における地震時崩壊危険斜面予測手法の検討          |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 助教      | 房 家シン  | 弘大アップルビーフ専用飼料と肥育技術の開発                            |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 客員研究員   | 葛西 厚史  | 接ぎ木を利用した人為的「枝変わり」作出技術の改良                         |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 研究機関研究員 | 後藤 史門  | 接合伝達を利用した新しい分子クローニングのワークフロー                      |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 研究機関研究員 | 笠原 里恵  | 河川の砂礫地で繁殖するイカルチドリの遺伝的構造の地域比較                     |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 研究機関研究員 | 関井 清乃  | 生殖様式転換の仕組みの違いが引き起こすプラナリア近縁2種の種分化の解明にむけて          |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 研究機関研究員 | 工藤 誠也  | アカシジミ大発生集団の個体群動態                                 |
| 自然科学<br>・農学系 | 農学生命科学部   | 研究機関研究員 | 佐藤 臨   | ホタル科マドポタル属のカタツムリ捕食戦略：木登り行動の適応的意義                 |
| 自然科学<br>・農学系 | 白神自然環境研究所 | 助教      | 山岸 洋貴  | 気象変動が白神山地の氷期遺存植物ハイマツの生育と分布に与える影響について             |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助教      | 下山 修司  | 自閉症スペクトラム障害治療薬候補の探索                              |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助手      | 石原 佳奈  | 妊娠糖尿病既往女性の長期フォローアップ体制の構築を目指したコホート研究              |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 特任講師    | 高橋 芳雄  | 自閉症スペクトラム障害患者の感覚処理の特異性が認知機能障害に与える影響の解明           |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助教      | 葛西 秋宅  | ミトコンドリアストレスによるATF4活性化とGCN1L1の関与                  |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 准教授     | 藤田 敏次  | ORNi-PCR法を利用した細菌叢の高精度・低コスト解析法の確立                 |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助教      | 廣畑 美枝  | 光誘導αSオリゴマー架橋モデルを用いてNSAIDsによる抗パーキンソン病効果を解明する      |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助教      | 多田羅 洋太 | 骨のコラーゲン線維が分解される機序の解明                             |
| 自然科学<br>・医学系 | 医学研究科     | 助教      | 清水 武史  | 加齢黄斑変性モデル動物の確立へ向けた新規遺伝性網膜疾患ラットの分子的解析             |
| 自然科学<br>・医学系 | 保健学研究科    | 助教      | 山口 平   | 体循環RNAの機能と致死線量放射線防護/緩和作用への関与                     |

| 分野        | 部局名          | 職名      | 申請者氏名  | 研究課題名   |
|-----------|--------------|---------|--------|---|
| 自然科学・医学系  | 保健学研究科       | 助教      | 堀江 香代  | 低分化型子宮内膜癌におけるプロゲステロンレセプターの新規細胞増殖抑制機構の解明                       |
| 自然科学・医学系  | 医学部附属病院      | 助教      | 花田 賢二  | 冠攣縮性狭心症における新たな機序解明：細胞内シグナル伝達物質βアラステチンの役割                      |
| 自然科学・医学系  | 医学部附属病院      | 助手      | 太田 真二  | シクロスポリンとトリプチリンを併用した新規腸炎治療法の開発                                 |
| 自然科学・保健学系 | 保健学研究科       | 講師      | 藤田 俊文  | 全身振動刺激による前頭前野賦活化と認知機能に関する基礎研究                                 |
| 自然科学・保健学系 | 保健学研究科       | 助教      | 辻口 貴清  | X線CT検査における各被検者体型を考慮した医療被ばく低減撮影技術の確立                           |
| 自然科学・保健学系 | 保健学研究科       | 助教      | 佐藤 ちひろ | PIT法による脳梗塞モデルラットを用いた求心性刺激による新たな運動麻痺治療法の確立                     |
| 自然科学・保健学系 | 医学部附属病院      | 診療放射線技師 | 小原 秀樹  | 放射線治療における拡張スケールのDual Energy Computed Tomographyを用いた高密度物質領域の検討 |
| 人文科学      | 人文社会科学部      | 准教授     | 植月 学   | 動物資源利用からみた縄文時代における人と環境の関係史                                    |
| 人文科学      | 人文社会科学部      | 准教授     | 小杉 雅俊  | 農作物の品質向上に主眼を置いたマネジメント・コントロール・システムの考察と検討                       |
| 人文科学      | 人文社会科学部      | 講師      | 亀谷 学   | イスラーム以前のアラブ・ペルシア関係とアラビア語世界史叙述                                 |
| 人文科学      | 医学研究科        | 特任講師    | 足立 匡基  | 児童思春期におけるインターネット依存と発達特性および内在化・外在化問題との関連                       |
| 人文科学      | 医学研究科        | 特任助手    | 安田 小響  | 感覚の特異性を持つ発達障害児を育てる親の育児ストレスと養育態度の関連                            |
| 人文科学      | 農学生命科学部      | 准教授     | 佐藤 孝宏  | 砂漠化対処の「負の遺産」が地域住民にもたらす経済効果—スーダン共和国アトバラ川周辺農村の事例—               |
| 地域志向      | 教育学部         | 准教授     | 増田 貴人  | バルシューレプログラムを援用した発達性協調運動症児への身体活動支援法の開発                         |
| 地域志向      | 保健学研究科       | 講師      | 小枝 周平  | 青森県内の発達障がい児の運動に対する支援の必要性およびニーズに関する調査                          |
| 地域志向      | 農学生命科学部      | 准教授     | 濱田 茂樹  | 地域オリジナル品種の開発を目指した新規糖質米の品質解析                                   |
| 地域志向      | 地域社会研究科      | 准教授     | 平井 太郎  | 地域おこし協力隊インパクト測定全国調査   |
| 地域志向      | 医学部附属病院      | 助教      | 菊池 英純  | 腸内環境に対するtryptanthrinの作用                                       |
| 地域志向      | 北日本新エネルギー研究所 | 教授      | 井岡 聖一郎 | 浅瀬石川扇状地上流部におけるOpen方式地中熱利用ポテンシャル評価                             |
| 地域志向      | 被ばく医療総合研究所   | 助教      | 岩岡 和輝  | 地域の緊急時被ばく線量評価体制の機能強化—原子力施設を有する青森県の安全安心のために—                   |
| 自然科学・理工学系 | 北日本新エネルギー研究所 | 准教授     | 吉田 暁弘  | 金属水素化物-共役系高分子の複合材料を触媒としたアンモニア合成                               |
| 自然科学・理工学系 | 北日本新エネルギー研究所 | 准教授     | 小島 秀和  | 超高温融体粘性の非接触測定計測センサーの開発  |
| 自然科学・理工学系 | 被ばく医療総合研究所   | 助教      | 田副 博文  | 放射ストロンチウム分析法の迅速・簡便化に資する高耐蝕性自動固相抽出装置の開発                        |
| 自然科学・理工学系 | 被ばく医療総合研究所   | 研究機関研究員 | 楊 国勝   | トリプル四重極誘導結合プラズマ質量分析法によるヨウ素-129の簡易・迅速分析法の開発                    |
| 自然科学・理工学系 | 教育学部         | 准教授     | 佐藤 松夫  | 弦幾何と非摂動論的弦理論  |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 峯田 才寛  | 軽量超弾性マグネシウム合金におけるひずみ回復挙動の支配因子の解明                              |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 于 涛    | ガスハイドレートを利用した海底二酸化炭素貯留法の実用化に関する研究                             |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 太田 俊   | ビスインドリル配位チタン錯体を用いた窒素分子の活性化                                    |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 山崎 祥平  | インディゴとその異性体における蛍光特性の理論的解明                                     |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 仙洞田 雄一 | 高次曲率重力理論におけるブラックホール摂動の解析手法の開発                                 |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 准教授     | 矢野 哲也  | 大気圧低温プラズマによる噴霧生成—活性化学種の輸送効率向上                                 |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 准教授     | 城田 農   | FTIR法と干渉縞法を組み合わせた多重分解能光学計測法の開発                                |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 准教授     | 北川 文彦  | LVSEP-FASI法に基づくキャピラリー電気泳動一分取システムの開発                           |
| 自然科学・理工学系 | 理工学研究科       | 助教      | 長井 力   | 手動制御における人間-機械操作系の特性解析   |

| 分野            | 部局名    | 職名  | 申請者氏名  | 研究課題名   |
|---------------|--------|-----|--------|---|
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 中澤 日出樹 | 新規高効率DLC太陽電池を実現するためのDLC表面上グラフェン作製技術の開発              |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 教授  | 中村 雅之  | 機械学習と知能化センサネットワークによる新規な環境・生体情報提示技術の開発               |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 教授  | 村田 裕幸  | アルカリ形燃料電池の移動体動力源への適用に関する基礎的研究                       |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 助教  | 岡部 孝裕  | スキー滑走面の雪の摩擦に伴う温度上昇の高精度・高確度計測                        |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 藤崎 和弘  | 微視構造変性が生体軟組織の力学特性に及ぼす影響                             |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 助教  | 渡邊 良祐  | 次世代Si太陽電池のための低コスト電界効果アルミナパッシベーション膜の開発               |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 岩谷 靖   | 空気中を漂うガス流の可視化のための基礎的検討                              |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 島田 照久  | 陸奥湾で発生する局地的強風と風況への影響                                |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 鷺坂 将伸  | 原油増進回収の効率化に向けた超臨界CO <sub>2</sub> 中での3Dネットワーク構造体の安定化 |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 准教授 | 上原子 晶久 | 鉄筋コンクリート構造物に対する補修・補強を同時に実現できる合理化工法の開発               |
| 自然科学<br>・理工学系 | 理工学研究科 | 教授  | 金本 俊幾  | 半導体集積回路の最適化およびセンサーノードへの応用に関する研究                     |

## 青森ブランド価値創造研究採択課題

| センター名         | 職名 | 研究代表者氏名 | 研究課題名                          |
|---------------|----|---------|--------------------------------|
| 地域未来創生センター    | 教授 | 李 永俊    | 低・未利用水産資源であるムラサキガイ活用法の開発とブランド化 |
| 地域資源利活用研究センター | 教授 | 殿内 暁夫   | 地域の微生物を活用した弘前大学ブランドの創造         |

当日はプレゼンの他、研究成果のポスター展示も行います。発表者相互、来場者および関係者らによる投票を行い、得票数に応じて表彰を行います。結果は交流会の時に発表します。皆さまのご参加をお待ちしております。